第１回月寒小学校改築検討協議会議事概要

１　日時
令和８年（2026年）10月8日（木）14：00～15：30

２　場所
月寒小学校　１階多目的室

３　出席者
別紙のとおり

４　協議会次第
⑴　開会あいさつ(学校配置マネジメント担当課長)
令和５年に立ち上げた学校配置検討委員会において、約２年間にわたり、あやめ野小、月寒東小、月寒小の再編についてご議論いただいたことに感謝申し上げる。

月寒小は老朽化に伴う校舎、体育館の建替を行うとともに、児童会館も複合化することで、より皆様に幅広く利用いただける施設となることを目指している。
地域・保護者・学校の皆様と心を一つにして、未来を見据えた最良の学校づくりに向けた検討を進めていきたい。

⑵　改築検討委員会・協議会の趣旨説明及び基本設計のスケジュールについて
(学校配置マネジメント担当係長)
【資料「改築検討委員会・協議会体系図」、「基本設計　想定スケジュール」】
ア　改築検討委員会・協議会について
基本設計を行う際に、学校に立ち上げていただいている「改築検討委員会」に、札幌市関係担当部署、設計事業者を加えた「改築検討協議会」を本日開催していることを説明。

イ　基本設計のスケジュールについて
資料に基づき、改築検討協議会及び住民説明会の想定開催スケジュールを説明。

⑶　学校施設と児童会館の複合化について（整備事業推進担当係長）
【資料「学校施設と児童会館の複合化について」】
月寒小学校校区内の児童会館である「月寒児童会館」を、今回の校舎改築にあわせて、新校舎と複合化した児童会館として整備する旨、複合化後の児童会館の概要、整備内容について説明。

⑷　新校舎の配置計画案について(施設整備係)
【資料「月寒小学校改築ほか工事基本・実施設計　第１回改築検討協議会」、「札幌市立月寒小学校　新校舎の配置計画案について（映像資料）」】

ア　基本方針・設計の考え方
「多様で柔軟な学習空間」、「健やかな学習・生活環境」、「地域の生涯学習やまちづくりの核としての機能」、「環境への配慮」の４点を目標として施設整備を計画している旨説明。

イ　配置計画案について
「小学校施設整備指針（文部科学省大臣官房文教施設企画・防災部）」、「月寒小学校改築等基本計画」及び敷地の周辺環境や現状建物配置から、「安心安全で機能的な学校」、「周辺環境との調和」、「屋外環境」、「経済性」、「工期・施工

計画」の５つをポイントに施設配置計画を進める旨説明。
　現校舎位置での建て替えについては、全体工程やグラウンドの使用不可期間が長くなること、引っ越し作業が２回となること、仮設校舎の建設により多額の費用が発生すること等、複数の課題があることから、既存校舎を使いながら現在のグラウンド側に校舎を建てる配置計画A案が望ましいと考えている旨説明。

ウ　事業スケジュール
　現状の想定では、令和８年度基本設計、令和９年度～令和10年度実施設計、令和11年度から工事着手予定である旨説明。

⑸　配置計画案等に関する主な意見・質疑応答

質　疑	回　答
月寒小のグラウンドは流域貯留浸透施設にしなければならないのか。	札幌市として、洪水被害を防止・軽減するため、学校グラウンドや公園を部分的に掘り下げ、大雨の際に雨水を一時的にためて川への急激な流出を抑える流域貯留浸透施設を設置している。月寒小は望月寒川流域の学校とされているため、月寒小のグラウンドに設置する方針である。
グラウンドはいつから使えなくなるのか。	事業が予定通り進めば令和11年度から使えなくなる。A案であれば令和16年まで、B案であれば令和17年まで使えない。
体育館やプールはいつから使えなくなるのか。	令和10年度末からプールを解体する予定だが、体育館が使用不可となる期間は生じない想定。他に、温室と教材園も令和10年度末から使えなくなる予定。
月寒小開校150周年に間に合うよう校舎と体育館の整備を行って欲しい。	A案であれば、工事の入札不調など不測の事態による遅れがなければ、開校150周年に間に合う計画である。
旧正門を通って児童が通学できるような動線を検討して欲しい。	車の動線と歩行者の動線が交差しない計画とするため、児童が旧正門を通らないパターンを提示したが、今後検討する。
体育館にエアコンは設置するか。	設置する予定。
小学校の体育館は避難所としても大事な場所であるため、どう対策したらより良い避難所となるかも同時に検討してもらいたい。	体育館がメインの避難場所となるが、危機管理対策室とも相談して検討する。
屋上に太陽光パネルを設置するのか。	費用対効果を比較して検討する。
正門から昇降口までの経路は、学校敷地と道路で高低差がある。職員室や周辺から死角となる場所を児童が通る可能性があるので検討してほしい。	可能な限り高低差を無くすよう整備するつもりだが、職員室からの可視化や児童の安全を意識して周辺の整備について検討する。

学校敷地の栗の木は伐採してしまうのか。月寒小は栗の木にゆかりが深いので、出来れば残してほしい。	新しい校舎にも月寒小ゆかりのものを残せるように検討する。
配置計画案等についての意見	
校舎の配置は、現在のグラウンド側に配置するA案が良いと思う。	
校舎東側の一方通行の道路が狭く、大型バスが旋回出来ないのではないか。道路の拡幅は難しいだろうから、校舎を全体的に西側にずらしてスペースを広く使えるような運用を行うのはどうか。	
学校周辺に特別養護老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅があるため、室外機の音や振動によるクレームが発生しないよう配慮してほしい。	

【結論】
学校配置については、今回提案した配置計画A案をベースとして設計を進め、次回協議会では教室等の詳細配置を検討することとする。

⑹　新築検討委員会委員長あいさつ(月寒小学校長)
本日の協議の中では、動線や高低差による死角の件など、子どもの安全を第一に考えてくださり、大変ありがたい。
月寒小開校140周年記念の絵本の巻末に、「これからの月寒小に残したいもの」が記載されている。第1位は異学年交流活動である「栗っこ活動」、第2位は「栗の木」、他にも「みんなの笑顔」、「素敵な挨拶」とある。
建物の検討だけでなく、教育の中身も含めて子どもたちが笑顔でいられるような学校づくりをこれからもしてまいりたいと考えている。
保護者・地域の皆様から、より良い校舎となるよう、次回の協議会でもたくさんのご意見をいただきたい。

以上